

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立県民の森		
所在地	庄原市西城町油木 156-14		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	公園センター(センター棟、宿泊棟)、全天候多目的施設(体育館)、キャンプ場、スキー場施設等		
指定管理者	4期目	H28.4.1～R3.3.31	株式会社比婆の森
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	株式会社比婆の森
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	株式会社比婆の森
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	株式会社比婆の森

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	110,000人	111,876人	527人
H30		110,000人	111,349人	△10,944人	1,349人(101.2%)
H29		110,000人	122,293人	9,374人	12,293人(111.2%)
H28		110,000人	112,919人	△5,753人	2,919人(102.7%)
	3期平均 H23～H27	105,000人	118,672人	15,793人	13,672人(113.0%)
	2期平均 H20～H22	101,000人	102,879人	9,267人	1,879人(101.9%)
	1期平均 H17～H19	—	93,612人	△7,525人	—
	H16(導入前)	—	101,137人	—	—
増減理由	スキー場営業日数の減少によりスキー利用者は減少したものの、食のイベント等の開催やキャンプ場の利用促進に努めた結果、前年度より利用者が増加し、目標を達成した。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施(利用者満足度調査)	宿泊施設利用者及びスキー場利用者(245人)
	【主な意見】	【その対応状況】
	食事が美味しく、従業員の対応や雰囲気も良かった。	引き続き、地域の食材等を生かしたメニューを提供する食のイベントを企画・実施していく。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	—
管理運営会議等(随時)	【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策 【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な運営や修繕を行う必要がある。 【県の対応】 指定管理者と連携しながら、計画的に修繕を実施する。	
現地調査(10月)		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R1	6,062		54	料金 収入 (決算額)	4期	R1
H30			6,008	0	H30	63,764			△4,316
H29			6,008	0	H29	68,080			8,601
H28			6,008	△1,868	H28	59,479			△16,914
3期平均 H23～H27		7,876	89	3期平均 H23～H27		76,393		2,715	
2期平均 H20～H22		7,787	2,451	2期平均 H20～H22		73,678		12,305	
1期平均 H17～H19		5,336	△4,061	1期平均 H17～H19		61,373		△8,328	
H16 (導入前)		9,397	—	H16 (導入前)		69,701		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	入	県委託料	6,062	6,008	54	消費税増による増
		料金収入(※1)	30,531	63,764	△33,233	冬季の積雪不足によるスキー場利用者の減
		その他収入	87,304	110,111	△22,807	飲食・レンタル収入等の減
		計(A)	123,897	179,883	△55,986	
	支 出	人件費	64,320	64,552	△232	スキー場に係る臨時職員の減
		光熱水費	15,797	18,096	△2,299	スキー場に係るガス・灯油等の減
		設備等保守点検費	11,197	9,916	1,281	厨房設備等の保守点検費の増
		清掃・警備費等	140	468	△328	清掃費の減
		施設維持修繕費	7,316	8,559	△1,243	浴室修繕費の減
		事務局費	5,990	8,389	△2,399	事務費の削減による減
		その他	59,993	68,140	△8,147	飲食収入の減に伴う仕入れの減
	計(B)	164,753	178,120	△13,367		
	収支①(A-B)		△40,856	1,763	△42,619	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		△40,856	1,763	△42,619		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自然環境を活用した環境学習や野外活動の場として、児童・生徒等の団体利用を誘致するなど、キャンプ場の利用促進を図った。	冬季の積雪不足があったものの、積極的な営業活動や他の地域からの新たな利用者の取り込みなど、利用者確保の取組に努めたことは評価できる。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	利用者がより自然に親しむことができるよう、山岳ガイドの派遣や利便性向上のための登山口等への送迎を行った。	冬季は、積雪不足により収入が激減したことから、今後は、天候の影響を受けにくい取組を企画するなど新たな利用促進策を検討する必要がある。
	○業務の実施による、施設の利用促進	バス会社と提携したバスパックの企画・販売を継続し、他の地域からも気軽に来園できるよう利用促進に努めた。	
	○施設の維持管理	施設・設備の保守点検を適切に実施し、修繕が必要な箇所は県と連携して対応するなど、適切な維持管理に努めた。	施設・設備の修繕に関して、安全面や施設運営に支障を来すものについて適切に対応している。
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	職員を適切に配置し、職員間の連携を密にすることで利用者サービスの向上に努めている。	職員の業務経験等を勘案し、職員間の連携を密にする等、適切に職員配置を行っている。
	○効率的な業務運営	インターネットの旅行サイトへの登録を継続し、利用予約手続きを簡素化した。	業務の効率化に取り組んでいる。
	○収支の適正	冬季の積雪不足により料金収入が対前年度比 47.9%と減少した影響で収支は赤字となった。	収支の改善に向けて、施設別の収支状況を分析するなど収益構造の見直しを行う必要がある。
総括		食のイベント等の開催やキャンプ場の利用促進に努めた結果、前年度より利用者は増加したものの、冬季の積雪不足の影響により収入は激減し、収支は赤字となった。	春から秋の間は、リピーターを確保しながら更なる利用促進を図るとともに、冬季は、スキー場収入に依存しない利用促進策を検討する必要がある。 また、経費を削減し支出額を抑制することにより、収支の改善を図る必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	利用者ニーズを踏まえた施設の利用促進及びサービス向上につながる企画を提案し、利用者増となる取組を実施する。	これまでの取組等について、利用及び収支実績を踏まえた検証を促し、より効果のある新たな企画・取組を実施できるよう支援する。
中期的な対応	天候の影響により収入が大きく変動することから、将来の維持管理経費の負担軽減などを行うとともに、天候に影響の少ない取組などを検討する。	天候に左右されやすい施設であるため、安定した施設の管理運営に向けて、部門別の費用対効果等を検証し、天候の影響を受けにくい取組が実施できるよう支援する。